様式第１（第１条関係）

【書類名】　特許料軽減申請書（福島復興再生特別措置法）

（【提出日】　平成　　年　　月　　日）

【あて先】　特許庁長官　　殿

【出願の表示】

【出願番号】

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代理人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の理由】

［削る］

【提出物件の目録】

〔備考〕

１～３　［略］

４　「【出願の表示】」の欄の「【出願番号】」には、設定登録前に特許料を申請するときは「特願○○○○－○○○○○○」のように特許出願の番号を記載し、設定登録後に特許料の第４年分以降を申請するときは「【出願の表示】」を「【特許番号】」とし「特許第○○○○○○○号」のように特許番号を記載する。

５～13　［略］

［削る］

14～19　［略］

様式第２（第２条関係）

［略］

〔備考〕

１・２　［略］

３　その他は、様式第１の備考１から３まで、備考５から12まで及び備考14から19までと同様とする。

様式第１（第１条関係）

【書類名】　特許料軽減申請書（福島復興再生特別措置法）

（【提出日】　平成　　年　　月　　日）

【あて先】　特許庁長官　　殿

【出願の表示】

【出願番号】

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代理人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の理由】

【納付年分】　第　年分

【提出物件の目録】

〔備考〕

１～３　［略］

４　「【出願の表示】」の欄の「【出願番号】」には、特許料の第１年分から第３年分まで又は特許料の第１年分から第３年分までと同時に第４年分以降を申請するときは「特願○○○○－○○○○○○」のように特許出願の番号を記載し、設定登録後に特許料の第４年分以降を申請するときは「【出願の表示】」を「【特許番号】」とし「特許第○○○○○○○号」のように特許番号を記載する。

５～13　［略］

14　複数年分を納付するときは、「【納付年分】」の欄に「第何年分から第何年分まで」のように記載する。

15～20　［略］

様式第２（第２条関係）

［略］

〔備考〕

１・２　［略］

３　その他は、様式第１の備考１から３まで、備考５から12まで、備考15から20までと同様とする。

備考　表中の［　］の記載は注記である。

（経済産業省関係産業競争力強化法施行規則の一部改正）

第六条　経済産業省関係産業競争力強化法施行規則（平成二十六年経済産業省令第一号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分は、これに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄に二重傍線を付した規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

改正後	改正前
（特許料軽減申請書の様式） **第五十一条**　令第十七条第一項に規定する申請書は、様式第二十一により作成しなければならない。	（特許料軽減申請書の様式） **第五十一条**　令第十七条第一項に規定する申請書は、様式第二十一により作成しなければならない。ただし、特許法（昭和三十四年法律第百二十一号）第百七条第一項に規定する第四年分から第十年分までの特許料を別に納付する場合は、その都度、様式第二十一により作成するものとする。
様式第二十一（第51条関係） 【書類名】　特許料軽減申請書（産業競争力強化法） （【提出日】　平成　　年　　月　　日） 【あて先】　特許庁長官　　殿 【出願の表示】 【出願番号】 【申請人】 【識別番号】 【住所又は居所】 【氏名又は名称】 【代理人】 【識別番号】 【住所又は居所】 【氏名又は名称】 【申請の理由】 ［削る］ 【提出物件の目録】 【技術の分野】 〔備考〕 １～３　［略］ ４　「【出願の表示】」の欄の「【出願番号】」には、設定登録前に特許料を申請するときは「特願○○○○－○○○○○○」の	**様式第二十一**（第51条関係） 【書類名】　特許料軽減申請書（産業競争力強化法） （【提出日】　平成　　年　　月　　日） 【あて先】　特許庁長官　　殿 【出願の表示】 【出願番号】 【申請人】 【識別番号】 【住所又は居所】 【氏名又は名称】 【代理人】 【識別番号】 【住所又は居所】 【氏名又は名称】 【申請の理由】 【納付年分】　第　　年分 【提出物件の目録】 【技術の分野】 〔備考〕 １～３　［略］ ４　「【出願の表示】」の欄の「【出願番号】」には、特許料の第１年分から第３年分まで又は特許料の第１年分から第３年分ま